

課題	取組事項	R4年度の実績	R5年度の内容
CLTの認知度が低い	CLTに関する情報の発信・CLTを用いた建築物の評価の向上	<p style="text-align: right; font-size: small;">R3年度からの継続含む</p> <p>◆消費者・事業者等に向けたPR活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経営者などの意思決定者等に向けて、CLT建築物の事業性検討に必要な情報を普及するための取組等の実施に対して補助。</li> <li>地方公共団体の担当者等に向けて、CLTを活用した木質建築の各工程でのチェックポイントを解説するパンフレットを業界団体と連携して作成。 【以上、農林水産省】</li> <li>CLT等の新たな木質材料を用いた建築物等の認知度の向上に資する消費者等向けの普及・広報（事例集の制作、ウェブサイトの改訂）に対する支援を実施。 【国土交通省】</li> <li>建築業界等への働きかけの実施。 【内閣官房、農林水産省、国土交通省】</li> <li>都道府県を通じ、介護施設等における木材の利用の促進及びCLTの活用の働きかけを実施。 【厚生労働省】</li> <li>内閣官房ホームページ「CLT活用促進のための政府一元窓口」で建築物の整備状況、各省庁の支援制度などを紹介。 【内閣官房】</li> </ul> <p>◆大規模イベント等における活用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2025年大阪・関西万博の日本政府館への活用。</li> <li>CLT活用推進パートナーの公募及び決定。</li> <li>CLT活用推進パートナーによるCLT再利用パートナーの公募及び決定。 【内閣官房、農林水産省、国土交通省、環境省】</li> </ul> <p>◆SDGs・ESG投資等への寄与の「見える化」等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ESG投資等において建築物への木材利用が有効に評価されるよう、評価項目・手法・指標や評価の仕組みのあり方について検討。特に木材の炭素貯蔵・排出削減効果等に係る具体的な評価手法・指標の検証を実施。 【農林水産省】</li> <li>建築物に係るライフサイクルカーボンの評価方法の構築に向けて検討を開始。 【国土交通省】</li> </ul>	<p>◆消費者・事業者等に向けたPR活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CLT建築物の計画や設計実務の担当者向けに相談窓口を開設し、専門家を派遣するなどの取組に対して補助。</li> <li>事業者等向けの実物件に関するWEB講習会の開催に対して補助。 【以上、農林水産省】</li> </ul> <p>・引き続き、消費者等向けの普及・広報（解説本の制作、ウェブサイトのコンテンツ充実）に対する支援を実施。 【国土交通省】</p> <p>・引き続き、関係団体に対し普及・啓発活動を実施予定。 【関係省庁】</p> <p>・引き続き、都道府県と連携した取組を実施。 【厚生労働省】</p> <p>・引き続き、普及に向けた情報を発信。 【内閣官房】</p> <p>◆大規模イベント等における活用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2025年大阪・関西万博の日本政府館で使用するCLTの再利用方策の検討。 【内閣官房、農林水産省、国土交通省、環境省】</li> </ul> <p>◆SDGs・ESG投資等への寄与の「見える化」等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ESG投資等において建築物への木材利用が有効に評価されるよう、評価項目・手法等について引き続き検討し、これらを取りまとめた建築事業者向けガイドランスを作成。 【農林水産省】</li> <li>引き続き、建築物に係るライフサイクルカーボンの評価方法の構築に向けて検討。 【国土交通省】</li> </ul>

# CLTの普及に向けた新ロードマップのフォローアップについて

課題	取組事項	R4年度の実績	R5年度の内容
CLTの認知度が低い	モデル的なCLT建築物等の整備の促進	<p>◆モデル的・先導的建築物の建築、実証事業等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CLTを活用した先駆的な建築物の建築等の実証27件に対して補助。 (CLTを活用した先駆的な建築物の建設等支援) 【農林水産省】</li> <li>CLT等を用いた先導的な設計・施工技術が導入される建築物の木造化プロジェクト9件(R3・4年度)に対する支援を実施。 (サステナブル建築物等先導事業(木造先導型))</li> <li>CLT等を用いた建築物の木造化の普及に資する優良なプロジェクト2件に対する支援を実施。 (優良木造建築物等整備推進事業) 【以上、国土交通省】</li> <li>ZEB(ネット・ゼロ・エネルギービル)化を目指す建築物に対する設備導入補助事業において、CLTを用いた2件を優先採択。 (建築物等の脱炭素化・レジリエンス強化促進事業) 【環境省】</li> <li>CLT等の建築木材の省CO<sub>2</sub>効果の高い再利用方法を調査・検証するための事業を実施。 (木材の再利用によるCE×CNの同時達成方策評価検証事業) 【環境省・農林水産省】</li> </ul> <p>◆先駆性の高い建築物・製品の顕彰制度の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「CLT DESIGN AWARD 2022-設計コンテスト」において、3大臣賞を授与。 【農林水産省、国土交通省、環境省】</li> </ul> <p>◆公共建築物等への積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域材利用のモデルとなるCLTを活用した木造公共建築物の整備4件に対して補助。 (林業・木材産業成長産業化促進対策のうち木造公共建築物等の整備) 【農林水産省】</li> </ul> <p>◆CLT建築物を活かした街づくりの実証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「街づくり(一定区域内における複数のCLT建築物などの建築等)」に向けた設計等の実証1件に対して補助。 (CLTを活用した先駆的な建築物の建設等支援) 【農林水産省】</li> </ul>	<p>◆モデル的・先導的建築物の建築、実証事業等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CLTを活用した先駆的な建築物の建築等の実証に対する支援事業を実施。 (CLTを活用した先駆的な建築物の建設等支援) 【農林水産省】</li> <li>引き続き、CLT等を用いた先導的な設計・施工技術が導入される建築物の木造化プロジェクトに対する支援を実施。 (サステナブル建築物等先導事業(木造先導型))</li> <li>引き続き、CLT等を用いた建築物の木造化の普及に資する優良なプロジェクトに対する支援を実施。 (優良木造建築物等整備推進事業) 【以上、国土交通省】</li> <li>ZEB(ネット・ゼロ・エネルギービル)化を目指す、建築物に対する設備導入補助事業及び大規模建築物に対する補助事業において、CLTを用いた事業を優先採択。 (建築物等の脱炭素化・レジリエンス強化促進事業)(住宅・建築物需給一体型等省エネルギー投資促進事業) 【環境省、経産省】</li> <li>CLT等の建築木材の省CO<sub>2</sub>効果の高い再利用方法を調査・検証するための事業を実施。 (木材の再利用によるCE×CNの同時達成方策評価検証事業) 【環境省・農林水産省】</li> </ul> <p>◆先駆性の高い建築物・製品の顕彰制度の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「CLT DESIGN AWARD 2023-設計コンテスト」において、3大臣賞を授与予定。 【農林水産省、国土交通省、環境省】</li> </ul> <p>◆公共建築物等への積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域材利用のモデルとなるCLTを活用した木造公共建築物の整備に対する支援事業を実施。 (林業・木材産業成長循環成長対策のうち木造公共建築物等の整備) 【農林水産省】</li> </ul> <p>◆CLT建築物を活かした街づくりの実証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「街づくり」の実証に対する支援事業を実施。 (CLTを活用した先駆的な建築物の建設等支援) 【農林水産省】</li> </ul>

# CLTの普及に向けた新ロードマップのフォローアップについて

課題	取組事項	R4年度の実績	R5年度の内容
CLTの認知度が低い	モデル的なCLT建築物等の整備の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆標準的な木造化モデルの作成・普及                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープン技術で設計・施工が可能な3階建て事務所用途の標準的な木造化モデルの作成・普及に対して補助。【農林水産省】</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆標準的な木造化モデルの作成・普及                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープン技術で設計・施工が可能な4階建て事務所用途の木造化モデルの作成に対して補助。</li> <li>・順次、作成した木造化モデルを普及。【以上、農林水産省】</li> </ul> </li> </ul>
	まとまった需要の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆公共建築物等への積極的な活用（再掲）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域材利用のモデルとなるCLTを活用した木造公共建築物の整備4件に対して補助。（林業・木材産業成長産業化促進対策のうち木造公共建築物等の整備）【農林水産省再掲】</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆公共建築物等への積極的な活用（再掲）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域材利用のモデルとなるCLTを活用した木造公共建築物の整備に対する支援事業を実施。（林業・木材産業循環成長対策のうち木造公共建築物等の整備）【農林水産省再掲】</li> </ul> </li> </ul>
	効率的な量産体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆製造施設の整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・JAS認証を取得したCLT工場が9工場あり、生産能力は、8万m<sup>3</sup>/年（R4.4現在）。北海道1工場、東北2工場、中部1工場、中国2工場、四国1工場、九州2工場【農林水産省】</li> </ul> </li> <li>◆CLTパネル等の寸法等の標準化・規格化に向けた連携体制の構築                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間団体において、標準寸法の設定に向けたワーキンググループを開催し、ターゲットとする建築や用途を検討・整理</li> <li>・CLT製造事業者と設計・施工者等の連携によるモデル的な建築等の実証1件に対して補助。（CLTを活用した先駆的な建築物の建設等支援）【以上、農林水産省】</li> </ul> </li> <li>◆低コストの接合方法等の開発                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間団体において、低コストの接合方法等の開発に向けた検討を開始。【農林水産省】</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆製造施設の整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5.9現在のCLT工場は11工場、生産能力は10万m<sup>3</sup>/年</li> <li>・R5.8に九州及び近畿の各1工場がJAS認証を取得。北海道1工場、東北2工場、中部1工場、近畿1工場、中国2工場、四国1工場、九州3工場</li> <li>・需要動向や地域ブロックバランスを考慮したCLT製造施設の整備に対する支援事業を実施。【以上、農林水産省】</li> </ul> </li> <li>◆CLTパネル等の寸法等の標準化・規格化に向けた連携体制の構築                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・各CLT製造メーカーや設計・施工者等の連携によりCLTパネルの標準寸法を整理する取組等に対して補助。</li> <li>・寸法の標準化等を通じてCLTを低コストで安定的に供給するための実証に対する支援事業を実施。（CLTを活用した先駆的な建築物の建設等支援）【以上、農林水産省】</li> </ul> </li> <li>◆低コストの接合方法等の開発                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、CLTパネル工法における低コストな接合方法等の開発に向けて検討。【農林水産省】</li> </ul> </li> </ul>
建築コスト関連の情報提供		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆S造やRC造等とのコスト比較等に関する情報の提供                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実証事業等において、S造やRC造等とのコスト比較等に関する情報を収集する取組に対して補助。【農林水産省】</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆S造やRC造等とのコスト比較等に関する情報の提供                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実証事業等において、S造やRC造等とのコスト比較等を引き続き実施し、得られた情報について、設計者や施工者が把握しやすいよう情報提供する取組に対して補助。【農林水産省】</li> </ul> </li> </ul>

# CLTの普及に向けた新ロードマップのフォローアップについて

課題	取組事項	R4年度の実績	R5年度の内容
<p>需要に応じたタイムリーな供給を行っていない</p>	<p>安定的供給体制の構築</p>	<p>◆製造施設の整備（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JAS認証を取得したCLT工場が9工場あり、生産能力は、8万m<sup>3</sup>/年（R4.4現在）。北海道1工場、東北2工場、中部1工場、中国2工場、四国1工場、九州2工場【農林水産省再掲】</li> </ul> <p>◆製造メーカー間の連携による安定供給体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間団体において、標準寸法の設定に向けたワーキンググループを開催し、ターゲットとする建築や用途を検討・整理</li> <li>・CLT製造事業者と設計・施工者等の連携によるモデル的な建築等の実証に対して補助。（CLTを活用した先駆的な建築物の建設等支援）【以上、農林水産省再掲】</li> </ul>	<p>◆製造施設の整備（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5.9現在のCLT工場は11工場、生産能力は10万m<sup>3</sup>/年。</li> <li>・R5.8に九州及び近畿の各1工場がJAS認証を取得。北海道1工場、東北2工場、中部1工場、近畿1工場、中国2工場、四国1工場、九州3工場</li> <li>・需要動向や地域ブロックバランスを考慮したCLT製造施設の整備に対する支援事業を実施。【以上、農林水産省再掲】</li> </ul> <p>◆製造メーカー間の連携による安定供給体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各CLT製造メーカーや設計・施工者等の連携によりCLTパネルの標準寸法を整理する取組等に対して補助。</li> <li>・寸法の標準化等を通じてCLTを低コストで安定的に供給するための実証に対する支援事業を実施。（CLTを活用した先駆的な建築物の建設等支援）【農林水産省再掲】</li> </ul>
<p>CLTの活用範囲が狭い</p>	<p>建築基準・材料規格の合理化</p> <p>建築以外の分野での活用</p>	<p>◆中層CLT建築物等の構造計算・防耐火規制等の合理化・普及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CLTパネル工法の構造計算の簡易なモデルの整備に対して補助。【農林水産省】</li> <li>・<u>ルート2構造計算の適用範囲を拡大。（告示）</u></li> <li>・建築物における木材利用の促進を図るため建築基準法を改正。【以上、国土交通省】</li> </ul> <p>◆幅広い層構成の基準強度の設定等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>スギ9層9プライの強度試験データの収集等に対して補助。</u>【農林水産省】</li> </ul> <p>◆効率性の高い非等厚CLT等の規格の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>効率性の高い非等厚CLTの規格の拡充に向けた強度データの収集等に対して補助。</u>【農林水産省】</li> </ul> <p>◆土木分野で活用可能な製品の開発推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期の実用化が期待できる技術についてより詳細な検証を進めるなど、CLTを活用した土木利用技術の開発に向けた取組に対して補助。【農林水産省】</li> </ul>	<p>◆中層CLT建築物等の構造計算・防耐火規制等の合理化・普及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CLTパネル工法によるルート2構造計算に対応した中層建築物の標準設計の作成に関する取組に対して補助。【農林水産省】</li> <li>・<u>小規模な建築物の仕様ルート創設を検討。（告示）</u></li> <li>・<u>改正建築基準法の2年以内の施行に向け、新たな防耐火規制に対応した基準等を検討中。（政令・告示）</u>【以上、国土交通省】</li> </ul> <p>◆幅広い層構成の基準強度の設定等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、<u>スギ9層9プライの強度試験データの収集等に対して補助。</u>【農林水産省】</li> <li>・<u>林野庁において収集される強度試験データ等を踏まえて、CLTの基準強度に9層9プライの強度の追加を検討。（告示）</u>【国土交通省】</li> </ul> <p>◆効率性の高い非等厚CLT等の規格の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、<u>効率性の高い非等厚CLTの規格の拡充に向けた強度データの収集等に対して補助。</u>【農林水産省】</li> </ul> <p>◆土木分野で活用可能な製品の開発推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、CLTを活用した土木利用技術の開発に向けた取組に対して補助。【農林水産省】</li> </ul>

# CLTの普及に向けた新ロードマップのフォローアップについて

課題	取組事項	R4年度の実績	R5年度の内容
<p>CLTの設計・施工等をしてくれる担い手がみづかりにくい</p>	<p>設計者等の設計技術等の向上</p>	<p>◆設計者・施工者等に向けた講習会等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CLT建築物の計画や設計実務の担当者向けに相談窓口を開設し、専門家を派遣するなどの取組に対して補助。70件の相談に対応、26件に専門家を派遣。</li> <li>新たにCLTに取組む設計者等向けの実務講習会（WEB）の開催に対して補助し、701名が受講。</li> <li>事業者等向けの実物件に関するWEB講習会の開催に対して補助し、323名が受講。</li> <li>CLTを活用した建築物等実証や、技術開発等の成果を普及するため、報告会の開催に対して補助。</li> <li>CLTを用いた中大規模木造建築物の防耐火設計手引きの作成に向けた検討に対して補助。 【以上、農林水産省】</li> <li>CLT建築物を担う大工技能者等の育成に係る取組に対する支援を実施。</li> <li>CLT建築物を含む都市木造建築物の設計に関する講習に対する支援を実施。 【以上、国土交通省】</li> </ul> <p>◆設計者への一元的サポートの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CLT建築物を含む都市木造建築物の設計に資する技術情報を集約・整理し、設計者へ一元的に提供するポータルサイトの整備に対する支援を実施。</li> <li>過去の具体事例における詳細な設計関連の技術資料や標準図を上記ポータルサイトで公表。</li> <li>「新しい木質材料を活用した混構造建築物の設計・施工技術の開発（平成29年～令和3年）」の技術資料をとりまとめ、公表。 【以上、国土交通省】</li> </ul>	<p>◆設計者・施工者等に向けた講習会等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CLT建築物の計画や設計実務の担当者向けに相談窓口を開設し、専門家を派遣するなどの取組に対して補助。</li> <li>新たにCLTに取組む設計者等向けの実務講習会（WEB）の開催に対して補助。</li> <li>事業者等向けの実物件に関するWEB講習会の開催に対して補助。</li> <li>CLTを活用した建築物等実証や、技術開発等の成果を普及するため、報告会の開催に対して補助。</li> <li>引き続き、CLTを用いた中大規模木造建築物の防耐火設計手引きの作成に向けた検討等に対して補助。 【以上、農林水産省】</li> <li>引き続き、CLT建築物を担う大工技能者等の育成に係る取組に対する支援を実施。</li> <li>引き続き、CLT建築物を含む都市木造建築物の設計に関する講習に対する支援を実施。 【以上、国土交通省】</li> </ul> <p>◆設計者への一元的サポートの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ポータルサイトの充実に対する支援を実施。 【国土交通省】</li> </ul>

# CLTの普及に向けた新ロードマップのフォローアップについて

課題	取組事項	R4年度の実績	R5年度の内容
CLTの設計・施工等をしてくれる担い手がみつかりにくい	設計等のプロセスの合理化	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆設計・積算ツールの開発                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造計算を合理化・容易化するための一貫構造計算システムの整備に向けた取組に対して補助。【農林水産省】</li> </ul> </li> <li>◆建築物の部材製造、設計、施工プロセスの一体的デジタル化の推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準的なBIM木質部材データを整備するとともに、実際の材料調達における課題や、BIM木質部材の供給情報データベース構築に向けた課題の抽出・検証を実施。【農林水産省】</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆設計・積算ツールの開発                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、構造計算を合理化・容易化するための一貫構造計算システムの整備に向けた取組に対して補助。【農林水産省】</li> </ul> </li> <li>◆建築物の部材製造、設計、施工プロセスの一体的デジタル化の推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準的なBIM木質部材データの実用化・普及やそれに対応した製品供給情報データベースの充実のための検討を行うとともに、BIMを活用した資材調達の標準フローの作成及び課題の検証を実施。【農林水産省】</li> </ul> </li> </ul>
	担い手情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆担い手に関する情報の積極的提供                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・CLT建築物に対応可能な設計者、施工者等のリストをポータルサイトで公表。【国土交通省】</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆担い手に関する情報の積極的提供                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、CLT建築物に対応可能な設計者、施工者等のリストをポータルサイトで公表。【国土交通省】</li> </ul> </li> </ul>
CLTの維持・管理の方法が分かりにくい	適切な維持・管理情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆既存建築におけるCLT等の木質材料の維持・管理について分析・整理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体事例から得られた維持・管理の状況・コスト等の分析・整理に向けた検討を実施。【国土交通省】</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆既存建築におけるCLT等の木質材料の維持・管理について分析・整理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体事例から得られた維持・管理の状況・コスト等の分析・整理し、建築主等にとってわかりやすい資料としてとりまとめ。【国土交通省】</li> </ul> </li> </ul>

● 高層建築物等のモデル的・先導的な取組を引き続き推進。

● 全国的なニーズがある中層建築物をターゲットとして、標準的な木造化モデルの作成や建築基準の合理化を進めつつ、パネルの寸法等の標準化・規格化などに取り組み、需要と供給の拡大を車の両輪として進めることで、CLTの普及を図る。

# CLTの普及に向けた新ロードマップ ～更なる利用拡大に向けて～

継続実施  
新規施策

CLT活用促進に関する  
関係省庁連絡会議  
令和3年3月25日決定  
令和4年9月20日改定

CLTの活用拡大

課題	取組事項	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目指す姿
CLTの認知度が低い	CLTに関する情報の発信・CLTを用いた建築物の評価の向上	消費者・事業者等に向けたPR活動の展開					国民にCLTの魅力やその活用の社会的意義などが広く理解される。
		大規模イベント等における活用の促進					
		SDGs・ESG投資等への寄与の「見える化」等					
	モデル的なCLT建築物等の整備の促進	モデル的・先導的建築物の建築、実証事業等の推進					
		先駆性の高い建築物・製品の顕彰制度の推進					
		公共建築物等への積極的な活用					
コスト面の優位性が低い	まとまった需要の確保	CLT建築物を活かした街づくりの実証					CLT製品価格が7～8万円/m <sup>3</sup> となり、他工法と比べコスト面でのデメリットが解消される。
		標準的な木造化モデルの作成		木造化モデルの普及			
		公共建築物等への積極的な活用（再掲）					
	効率的な量産体制の構築	製造施設の整備（令和6年度末までに年間50万m <sup>3</sup> のCLT生産体制を目指す）					
		CLTパネル等の寸法等の標準化・規格化に向けた連携体制の構築			規格化されたCLTパネル等の普及		
建築コスト関連の情報提供	S造やRC造等とのコスト比較等に関する情報の提供						
需要に応じたタイムリーな供給を行えていない	安定的供給体制の構築	製造施設の整備（再掲）					全国どこでも、需要者からのリクエストに対して安定的に供給される体制が整備される。
		製造メーカー間の連携による安定供給体制の構築		製造メーカー間の連携による安定供給を推進			
CLTの活用範囲が狭い	建築基準・材料規格の合理化	中層CLT建築物等の構造計算・防耐火規制等の合理化・普及					幅広い範囲の建築物、構造物等でCLTの活用が進む。
		幅広い層構成の基準強度の設定等		告示の普及等			
	建築以外の分野での活用	効率性の高い非等厚CLT等の規格の拡充			規格の普及		
CLTの設計・施工等をしてくれる担い手がみづかりにくい	設計者等の設計技術等の向上	設計者・施工者等に向けた講習会等の推進					CLT建築物の設計等を行うことの出来る設計者等が増加し、必要な設計者等を円滑に選定できる。
	設計等のプロセスの合理化	設計者への一元的サポートの推進					
		設計・積算ツールの開発		設計・積算ツールの普及			
	担い手情報の提供	建築物の部材製造、設計、施工プロセスの一体的デジタル化の推進					
CLTの維持・管理の方法が分かりにくい	適切な維持・管理情報の提供	担い手に関する情報の積極的提供					建築主等の中で適切な維持・管理の方法が的確に理解される。
		既存建築におけるCLT等の木質材料の維持・管理について分析・整理			CLT等の木質材料の維持・管理に関する留意点等の普及		